



相馬高校放送局

映像作品上映&渡部義弘氏講演

2.15 (sun) 入場無料

13:00～15:00 (受付12:30)

会場:北陸学院大学国際交流研修センター3F 第3AV教室

原発事故からもうすぐ4年。

相馬高校生がレンズを通して見る、ふるさと福島「いま」を
上映します。

渡部義弘さん(相馬高校放送局顧問)

相馬高校放送局顧問 渡部義弘です。震災直後に作品を制作してから震災を伝える活動を続けて四年目になりました。様々な賞もいただきましたが、受賞歴以上に相馬高校放送局の作品群に価値があるとすれば、審査のことを考えずに自分たちの意見を伝える作品群をずっと作り続けているということです。これは県内では稀有な例です。

戦後日本で戦争についてその体験を語り始めるのには時間がかかりました。相馬高校放送局の作品群は震災後からリアルタイムで自分たちの文法で震災体験や震災・原発事故について伝え続けてきました。相馬高校放送局作品で一番名が通っているのは「今伝えたいこと(仮)」という演劇ですが、今まで続く震災後の活動そのものが「今伝えたいこと(仮)」であると思っています。虚飾のない福島の高校生の声に耳を傾けてみませんか? メディアからは聞こえない声があります。



◆本企画に関するお問い合わせ
北陸学院大学地域教育開発センター 田中(社会学科)
076-280-3850
Email:tanaka.j@hokurikugakuin.ac.jp